

# 令和元年度 総務文教常任委員会 視察研修報告書

## 1 視察日

令和元年 11月 18日 (月)

令和元年 11月 19日 (火)

## 2 参加委員

丸山 国一 (委員長)、岡部 紀久雄 (副委員長)、廣瀬 宗勝  
中村 勝彦、飯島 武志、廣瀬 一郎、平塚 悟

## 3 視察先及びテーマ

- ・名称：千葉県南房総市立富山学園
- ・住所：千葉県南房総市合戸 22
- ・テーマ：「保幼小中一貫教育」  
：「小中学校の統廃合について」
  
- ・名称：千葉県南房総市議会
- ・住所：千葉県南房総市富浦町青木 28
- ・テーマ：「空き公共施設活用事業」  
：「空き公共施設のこれからの利活用について」
  
- ・名称：千葉県習志野市議会
- ・住所：千葉県習志野市鷺沼 2-1-1
- ・テーマ：「公共施設等総合管理計画及び個別施設計画策定について」

## 4 視察研修報告

1日目の今回訪れた富山学園は、全国初の「保育園・幼稚園・小学校・中学校一体施設」として平成29年4月に開園し、南房総市が推進する「0歳から15歳までの15年教育」を具現し、象徴する施設であります。

南房総市では、南房総に誇りと強い思いを持ち、可能性にチャレンジする教育を推進し、将来を担う子ども達の健全な育成のため、就学前保育・教育、子育て支援の充実と、市内に残っても、離れても、どこへ行っても通用する学力の向上を図ることを教育理念としています。

平成18年の7町村合併時にあった小学校16校、中学校7校を再編し、現在は小学校6校と中学校6校を学園化し、学校の統廃合、幼保一体化、幼・小・中の連携、学童保育の充実を図るとともに、通学支援にスクールバス27台を運行して教育環境の整備を進めてきました。

学力の向上においては、市独自の学力調査を行い、小学校5・6年生の児童を対象に放

課後こどもクラブ教室での学習や、学習塾やスポーツ教室の費用を助成する放課後学習パウチャー交付金などの施策を行っています。

幼保・小中の連携を推進して、日々の学校生活においては、清掃活動をはじめ縦割りでの多世代の子どもたちが交流する中で、また、運動会や文化祭、生徒会・児童会活動や部活動と一緒にいき、一体感を醸成する中で、子どもたちは近い将来を想像して刺激し合いながら成長していました。統廃合については、合併前の7つの町村単位があり、地域区分がわかりやすい状態であり、また特に教育委員会が幼保小中を所管する形をとり15年間の子どもの教育と成長を一体的に通年的に見ることができています。

小学校・中学校の連携では、学習面・生徒指導面で一貫した指導、きめ細かな引継ぎを可能にし、教科による教職員の不足や指導力不足を補い、子どもたち一人ひとりに対応した教育の充実の成果を見てとることができます。また、職員室も幼保小中合同の部屋で意思の疎通と一体性を図っています。

保護者や地域の協力を得て、日本一おいしいご飯給食の取り組み、郷土愛を育む学園を核とした新たな地域づくりを始めていました。

市長の力強いリーダーシップのもと、人口減少社会を見据えて、子育て支援、教育環境の充実、若者世代の移住・定住の促進の支援など、将来に渡り持続可能な地域社会を実現するための事業を展開していました。

甲州市教育にも取り入れるポイントは多い研修でありました。

2日目の午前中、南房総市空き公共施設を活用した企業誘致の取り組みについて、商工観光部商工課担当者より説明を受け、活発な質疑応答を行いました。

千葉県では平成28年度から県の商工労働部企業立地課が主体となり、各市町村と連携を図りながら空き公共施設等を活用した企業誘致に取り組んでいます。

南房総市では市内全域に光ファイバー通信網整備や、高速道路などのインフラ整備を行い、専用サイトの立ち上げ、ウェブ広告、市見学会の開催など積極的な情報発信を行っています。また各金融機関と包括連携協定を締結し、各種補助金等の優遇支援制度を充実させるなか、空き保育所や廃校舎などの公共施設を活用した企業誘致が、本年7月31日現在で20にせまる契約、売却実績を重ねています。

本市においても空き公共施設の利活用は、企業立地による雇用の創出、税収の増加、地域経済の活性化、人口減少の抑止など数多くのメリットはあり、推進が望まれているところでもあります。

2日目の午後は習志野市公共施設等総合管理計画について、市政策経営部資産管理課長から説明を受けました。

習志野市では、時代の変化に対応した公共サービスを継続的に提供すること、人口減少社会の中で持続可能な都市経営を実現すること、将来世代に負担を先送りせず、より良い資産を次世代に引き継ぐことを目的に公共施設再生計画を策定しています。

平成26年から令和20年の間を3期に分け、職員への周知と関係課との連携の促進および地元企業への情報提供と理解を図る中で消防施設、小中学校、幼稚園、保育所、こども園等の教育施設、公民館・図書館等の生涯学習施設の建て替え、改修、複合化、多機能

化、統合化などを計画に基づき順次進めています。

甲州市でも来年度令和2年度末には、公共施設等総合管理計画の個別施設計画策定に向けて様々な準備をしていることと思いますが、今のサイズは、人口ピーク時の基準です。

今後の人口減少社会では、少し大きいサイズです。公共施設は、暮らしを便利にしますが、人が減る時代、1人あたりの負担は増えていきます。目指すは、子どもたちが大人になったときにちょうどいい甲州市のまち。将来の世代に負担をかけないように、これからの社会の動きを見据えて、この計画を立案していただきたいと思います。

### ●11月18日 南房総市立富山学園にて



### ●11月19日 南房総市役所にて



●11月19日 習志野市役所にて

